

歩行空間における移動支援サービスに関する 現地事業池田市実証報告について

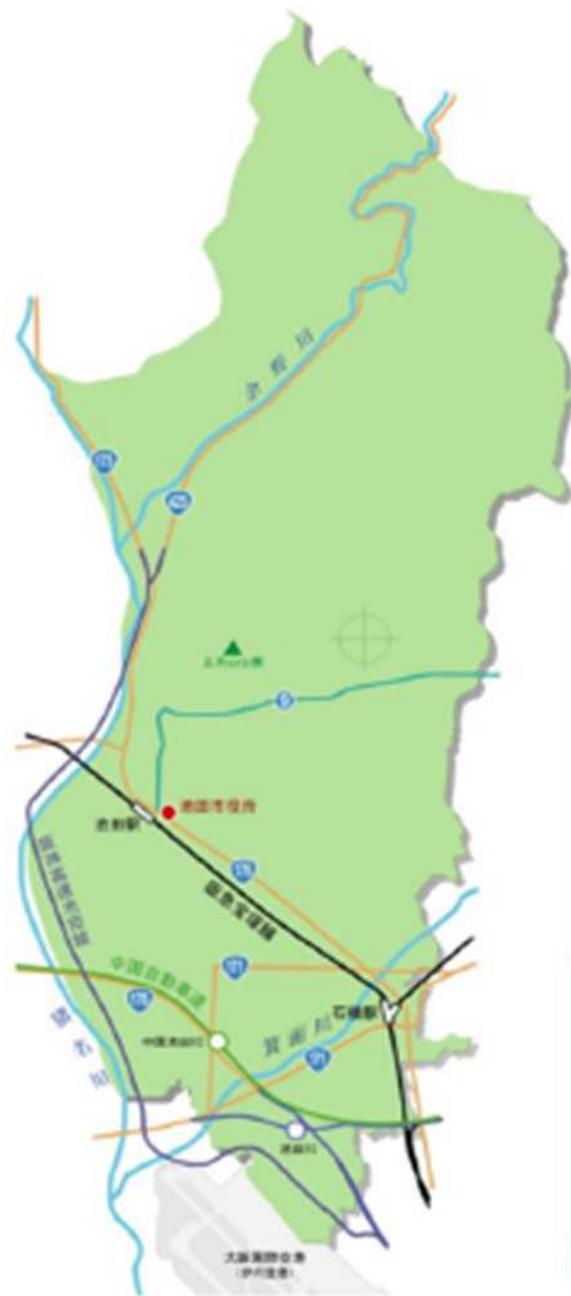
令和8年2月26日

池田市 都市整備部 交通道路課

池田市について

市政施行： 昭和14年
面積： 22.14km²
人口： 102,819人 (令和7年12月時点)

- 大阪府の北西部、兵庫県との県境に位置。
- 大阪都心と鉄道で結ばれ（阪急電鉄『池田駅』『石橋阪大前駅』）、大阪国際空港や各高速道路などの広域交通の結節点である。



コンパクトな市域に、豊かな自然や歴史・文化・観光資源、都市機能が集結したまち。



風光明媚な猪名川、五月山の風景



伝統の「がんがら火祭り」



全国のアマチュア落語家が集う「社会人落語日本一決定戦」



希少動物・五月山動物園のウォンバット



白ゆりが咲き誇る、池田城跡公園



池田駅周辺で開催する「おさんぽマルシェ」は多くの人でにぎわう

現地事業 実証報告について

日時

令和7年11月27日（木） 13時～

参加人数

池田市職員 7名

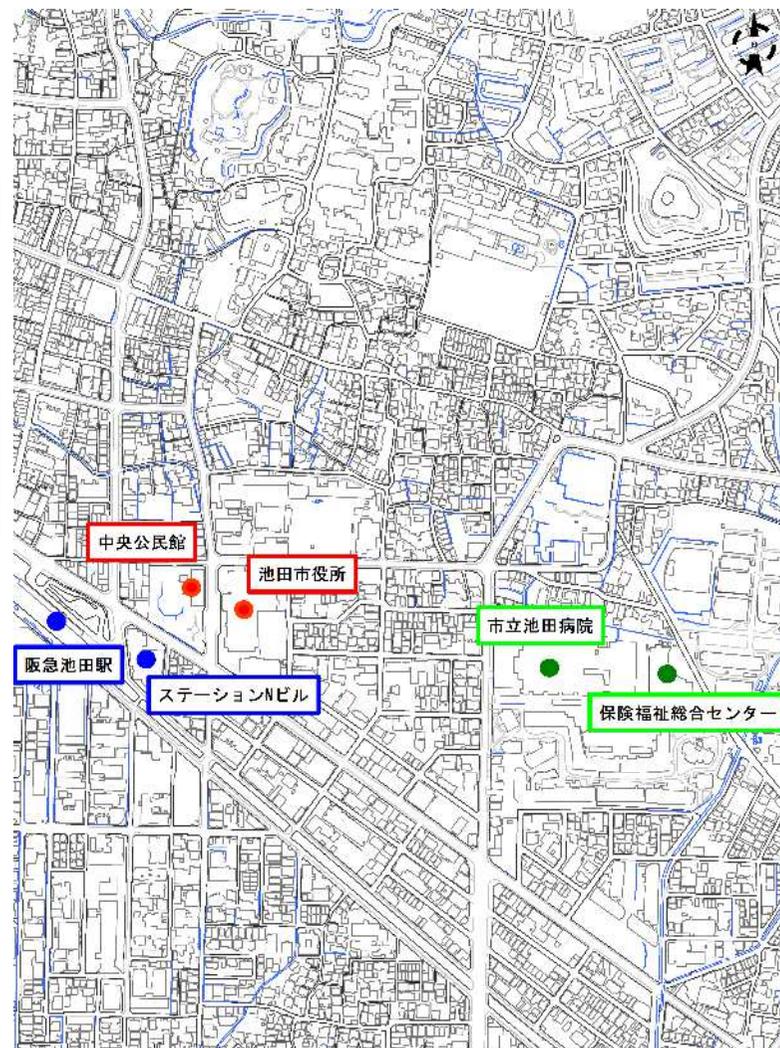
ボランティア 3名

実施場所

グループ①…池田市役所・中央公民館

グループ②…池田市立病院、保険福祉総合センター

グループ③…阪急池田駅、ステーションNビル



現地調査の様子

当日参加者の感想について

効果を感じられた意見、効果のあった意見

- AIでの解析によって簡易な修正だけで済むので、**データ整備の効率が上がった**ように思う。
- AI判定の精度が高く、判別してくれるため主観によりすぎない判断になる。
- 現地で写真を撮って帰庁後、データ整備できる仕組みはスマートフォンに依存していない仕組みでいいと感じた。
- 現地でチェックボックス等もあるためチェック漏れがほぼなくなり、**ペーパーレス化**にもつながっていると感じた。

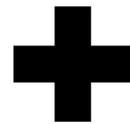
改善につながる意見、改善の余地があった意見

- 登録した写真が多ければ多いほど、AIに判定してもらう時間がかかる。どれくらい待つのがわからなかった
ので、**ローディング画面（今●%判定中）**があると嬉しい。
- **先進的なデザイン等**を取り入れた施設の場合、**AIの判定がまだ追いついていない**ので、その他の施設
情報から類推する機能などアップデートされていくとより良い。
- 全景を撮ってもボタンが点字対応か否かなどの細かい判断はできないと思われるので、**写真撮影時の例**
み
たいなものがあれば良い気がする。
- バリアフリー設備の写真の撮り方が適切か不適切かは、撮影者のバリアフリーに関する知識によって異なる。
- 何（設備）をどのくらいの精度（大きさ）で撮影すれば解析できるのかが不明であった。

バリアフリー施設等のデータについて

現地調査事業後、本市にて10施設データ整備実施。

実証時に現地確認した施設
6施設



追加調査した施設※一時避難場所
4施設

| 施設名 | 備考 |
|------------|--------|
| 阪急池田駅 | |
| 池田市役所 | |
| 中央公民館 | 福祉避難場所 |
| 保険福祉総合センター | 福祉避難場所 |
| ステーションNビル | |
| 市立池田病院 | |
| 池田駅前公園 | 一時避難場所 |
| 辻ヶ池公園 | 一時避難場所 |
| 石橋駅前公園 | 一時避難場所 |
| 豊島野公園 | 一時避難場所 |



トイレ調査時に使用した看板。



現地調査の様子

バリアフリー施設等のデータについて

現地調査事業後、本市にて10施設データ整備実施。

| | 従来調査方法 | AI活用調査方法 |
|------|---|--|
| 現地調査 | <p>『高齢者、障がい者等の円滑な移動等に配慮した建築設計基準』のチェックリストにて現地確認を実施。 また、調査前に職員が建築設計基準を確認してから調査していた。</p>  | <p>AIを活用することにより、調査員もバリアフリー施設の調査に不慣れであってもAI解析メモ等により、判断がしやすい。 また、写真を撮るだけのため、大幅に時間が減少、ただ、軽微な修正等がデータ整理時には必須となる。</p>  |
| 作業時間 | <p>調査人員：2人/施設 平均調査時間：2h/施設 生活関連施設：55施設 全作業時間：110時間（55施設×2h）</p> | <p>調査人員：2人/施設 平均調査時間：1h/施設 生活関連施設：55施設 全作業時間：55時間（55施設×1h）</p> |

ご清聴ありがとうございました